

ほくせい 北勢きらら学園
こうしき 公式キャラクター
「きらりん」です。



三重県立特別支援学校 北勢きらら学園

きららの紹介



こうもんまへ
校門前



たいきちゅう
待機中のバス



おんすい
温水プール



しょくどう
食堂



たいいくかん
体育館

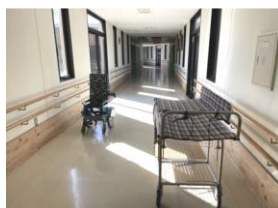
ほくせい 北勢きらら学園は、三重県内に14校ある県立の特別支援学校のうちの1つで、よっかいちしもえびちく 四日市市下海老地区にある肢体不自由部門の学校です。小学部・中学部・高等部あわせて約100名の子どもたちが通っています。子どもたちは、北勢地域（いなべ市、東員町、桑名市、木曽岬町、四日市市、菰野町、川越町、朝日町）からスクールバスで通学しています。他にも福祉送迎車や自家用車で登校する子もいます。また、教員が訪問して自宅へ授業を受ける子もいます。

きららのユニバーサルデザイン

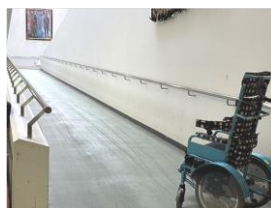
バリアフリーが「特定の人のバリア(段差などの障壁)をなくすこと」であるのに対して、ユニバーサルデザインは「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用しやすいように工夫することです。(このポスターもユニバーサルデザインの文字フォントを使用しています)



じどう 自動ドアのある昇降口



てすりのある幅の広い廊下



ゆるやかなスロープ



エレベーター



やわらかい床マット

きららの給食

子どもたちのかむ力や飲みこむ力に合わせて毎日5種類を用意します。

普通食	ばくばく食(一口食)	かみかみ食(きざみ食)	もぐもぐ食(つぶし食)	ごっくん食(ペースト食)
普通の大きさ、やわらかさ	1センチくらいの大きさに少しやわらかい	歯でかみつぶせるくらいのおおきさ、やわらかさ	舌で押しつぶせるくらいのおおきさ、やわらかさ	粒がなくなめらか、ねばり気を調整している

＊きららの子どもたち～活動の様子～＊

～きらら音楽会♪(1学期)～



全校を5つの縦割りチームに分けて、3回の全校集会を行いました。

自己紹介や演奏の練習などで親睦を深め、7月にはオンラインでの発表会をしました。

「こどものせかい」「世界中のこどもたちが」「ミッキーマウスマーチ」「ドレミのうた」「ゆかいなまきば」の曲を楽しく演奏し互いに鑑賞し合いました。

～きららまつり(2学期)～

きららまつりのテーマは「げんきにチャレンジやってみよう。きららまつりだエイエイオー！」1日目はオープニングと和太鼓演奏の鑑賞。全校で体育館に集まり和太鼓の響きを全身で感じました。「きらりん」と「きらりんこ」も登場しました。2日目は各グループで学習発表。3日目はボウリングやおもちゃずくいを楽しみました。



人権ポスターコンクール

人権啓発を目的として、人権ポスターコンクールを実施しました。小学部、中学部、高等部全18クラスが工夫をこらした作り方で仕上げました。最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品は県地区ふれあい文化祭で展示されました。



～近くの学校との交流～



県小学校や大池中学校、メリノール学院中学校、朝明高等学校福祉科との交流をしました。オンラインや対面で、合唱や合奏、クイズ、ダンス、ポッチャやボウリングなどのゲームを楽しみました。また、作品やメッセージのやりとりを通じた交流もしました。